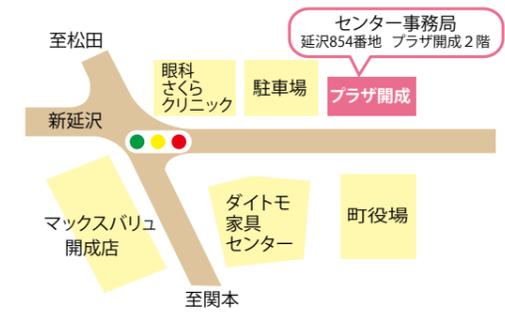


ファミリー・サポート・センター

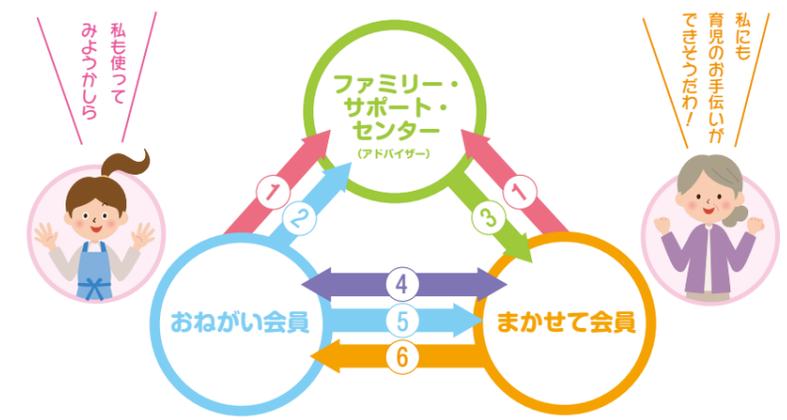
ファミリー・サポート・センター事務局 ☎20-69699
 子育て支援室 ☎82-52221

ファミリー・サポート・センター(略称ファミサポ)とは、子育ての援助をしたい人、受けたい人を地域で助け合う組織です。町は、地域の子育てを応援し、支えるために、平成26年9月にファミサポを設立しました。ファミサポの利用方法は様々で、保育園の送迎や冠婚葬祭のときの預かり、他の兄弟の学校行事など、さまざまな預かりがあります。



利用の流れ

- 1 入会申し込み**
ファミリー・サポート・センター事務局(以下、センター事務局)に入会申込書を提出します。
- 2 子どもを預けたい日をセンター事務局に連絡**
子育ての援助を受けたいときは、直接来所又は電話により、センター事務局に依頼をします。依頼してから援助活動実施日までの期間が短いと対応できるまかせて会員が見つけにくい場合がありますので、依頼はできるだけ早めにお願います。
- 3 まかせて会員の決定**
センター事務局は、まかせて会員の中から依頼内容に合った会員にすぐに連絡します。
- 4 おねがい会員とまかせて会員の顔合わせ**
まかせて会員の自宅などで、事前の打ち合わせを必ず行います。その際にはセンター事務局のアドバイザーも同席します。打ち合わせの結果、不安がある場合は、おねがい会員からセンター事務局に対して、まかせて会員の変更を依頼することもできます。
- 5 援助活動実施**
まかせて会員が、お子さんの預かりなどを実施します。
- 6 援助活動終了**
おねがい会員からまかせて会員に直接料金を支払います。その際は、お子さんの目に触れないよう、封筒などに入れて渡すと良いでしょう。



- 入会説明会**
日時/4月22日(水)
・まかせて会員 10時~11時
・おねがい会員 11時~12時
場所/町民センター2階中会議室A
- まかせて会員講習会**
全3日コースです。年3回実施しますので、ぜひ子育てのお手伝いをしたい方は受講してください。実施時期は、6月下旬、11月、平成28年2月の予定です。詳細は、時期が近くなりましたら、おしらせ版に掲載します。

利用料金	区分	料金
	平日 午前7時~午後7時	1時間700円 以後30分ごと350円
	土曜日、日曜日、祝日、年末年始、上記以外の時間帯	1時間900円 以後30分ごと450円

※その他おやつ代や交通費などは実費

●おねがい会員● 朝生文子さん、結ちゃん(3歳6か月)(下島)

朝生さんは、8年前に開成町に転入されました。当時、近くに親戚や知り合いはいなかったようですが、徐々に地域になじみ、開成町での子育てを楽しんでいられます。

「ファミサポは、子どもに「お母さんに置いていかれる」という不安感を与えない」と朝生さん

「私がファミサポを利用したきっかけは、就学のためでした。1日5時間程度預けるので、泣き止まなくて迷惑をかけたらどうしようと不安もありました。しかし、預けた初日、おねがい会員さんの家で、すんなり『バイバイ!』できたのです。子ども自身が、楽しくて安心できる場所だと感じたのだと思います。その子どもの顔を見て、私も安心して出かけられました」



現在、朝生さんは、保育園の一時保育とファミサポを上手に利用して、週2回の仕事をしています。朝生さんのように、保育園などの集団生活に入る前に、「お母さんと離れる」ことへのお子さんの不安感を和らげる1つのステップとして、ファミサポを利用するという方法もあります。

利用者の声

お子さんをあずける「おねがい会員」
 お子さんをあずかる「まかせて会員」
 使ってみて、活動してみてください。



西川さんは、お子さんの小学校入学を機に、まかせて会員の活動を始められました。西川さんのように、少し余裕のできた時間を使って、地域のお子さんの成長と一緒に喜べるのは、素晴らしい経験です。

●まかせて会員●

西川美江さん(パレットガーデン)

西川さんは、11歳と7歳のお子さんを育てるお母さんです。広報紙を見て、ファミサポのことを知り、まかせて会員講習会を経て、現在活動されています。

「とてもかわいい時期のお子さん。ママには、子育てをもっと楽しんでもらいたい。私にもお手伝いができるなんて、幸せです」と西川さん

「子どもと関わるのが好きなので、「まかせて会員」に挑戦してみようと思いました。講習会などを受講して、色々な知識を身に付けましたが、「預かったお子さんになにかあったらどうしよう」という不安はありました。でも、困ったときは、ファミサポのスタッフの方に相談できますし、預かる前に事前打合せもあります。それに、お子さんを預かってみると、本当にかわいくて楽しいです。何度か預かるうちに、自分にも自信がつき、今は不安より子育ての喜びを一緒に感じさせてもらっています」